

# HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぶ  
2009

## 医・療・福・祉・相・談・室・開・設

平成20年5月より院内に医療福祉相談室を設け、入院患者さんを中心に医師や看護師など医療スタッフに直接言いにくいことや、退院後に介護保険を利用する方のご相談をお受けしております。

「何かお困りではありませんか？」とお尋ねすると、多くの方は「何もないよ。でも強いて言えば…」と現在や退院後の生活に対する不安を訴えられます。

相談が多い内容は介護保険や高額療養費に関することで、制度があることは知っていても実際に自分が必要になったとき、利用方法がわからないということが多いようです。まずは、何でもお話しください。対策を一緒に考えましょう。

(担当：医療福祉相談員 榎村)



医療福祉相談室開設後、特に回復期リハビリテーション病棟のスタッフにも多く関わりを持っていただいています。退院後の介護保険についての説明や、退院後の施設の情報提供をしてもらっており、開設前より介護サービスの提供がより詳細に患者さんや家族の方に伝わっているようです。また、希望や苦情をなかなか【ご意見箱】に入れにくい患者さんからも訴えを聞き、それに対してサービス委員会でもより早くの対応を考えることができるようになっていきます。

今後もスタッフ一同患者さんが安心して退院できるよう志していきます。

医療福祉相談室

応接室



広瀬病院

# 第2回 BLS研修会

開催日  
2008.12.7



今回看護師がリーダーシップをとり、広瀬病院の一般職員に対して、気道確保・呼吸確認・脈拍の確認・心臓マッサージや人工呼吸の仕方・AEDの操作方法の研修会を行いました。

受講者は緊急時を想定した一連の流れに真剣に取り組みました。この経験を今後院内・外に関わらず、いざというときには積極的に迅速・冷静・適確な対応ができるよう活かしたいです。



広瀬病院

# 第2回 ALS研修会

開催日  
2009.1.25

突然の心肺停止にも対応できるように、当院では年に1回ALS (Advanced Life Support) 研修会を行っています。今回は外部講師として香川大学付属病院救急部の山下先生と鳥越先生に御指導いただきました。

外来・病棟の看護師が数名ずつの3チームに分かれて、人形を用いた基礎訓練のみではなく、病棟内で実際に起こりうる要因をおりませ、シミュレーションを作成し、実践しました。

研修会の場では適格に行動できましたが、現実にも起こった場合に迅速に対処が出来るかという問題もあり、第3回に備えて反省点も多数あげられました。

今回ALSのインストラクターを院内看護師より選出した結果、看護師全体のALSに対する考え方も違って来た様に思われ、今後は院内スタッフのみで研修会を開催出来る様レベルアップに努めて行きたいと思えます。



ALS研修会  
プログラム

- 10時開催 香川大学医学部 山下Dr講義
- 11時実習
- ①「BLS+AED」
- ②「気道確保・バックバルブマスク用手気道確保・BVM」
- ③「ルート確保・薬剤投与」
- ④「シナリオトレーニング」BLS+AED+BVM+薬剤投与
- 14時閉会



# サービス委員会より

患者サービス委員会では「意見箱」に投書頂いた意見を話し合い、検討しています。今回は、以下の御意見がありました。

## ●入院患者さんより

「他の患者さんの携帯電話が鳴りっぱなしに聞こえる。」

→携帯電話を使用している患者さんには、マナーモードにさせていただくよう説明します。

## ●外来患者さんより

「外来待合室の椅子、ソファに肘掛けか手すりが欲しい。(立ったり、座ったりするのが不便)」

→予算等の問題もありますので早急には無理かもしれませんが、患者さんが安楽に診察を待つことができるように前向きに検討させていただきます。

その他気になる点がございましたら、お気軽にお申しで、またはご投書ください。

当院では、患者さんにさらに喜んでいただける医療や看護を提供するべく今後も努めてまいります。

## 医療安全管理者より KYTって何かご存じですか

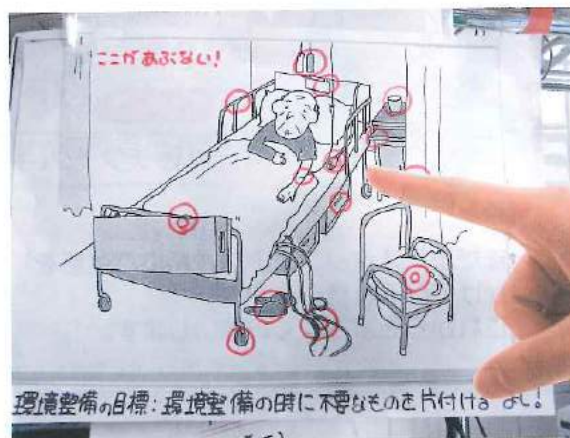
危険のK、予知のY、トレーニングのT。【危険予知トレーニング】のことです。

イラストレーションなどを使って、「どんな危険が潜んでいますか?」「あなたはどんなことに注意しますか?」について職場で楽しい雰囲気の中、皆で危険を予知しあい、予知した危険に対して自分ならどうするかを考えあう訓練手法のことです。それによってリスクセンスを磨きます。

当院でもKYTを行っています。

今回はベッド臥床の患者さんのイラストを使用しました。

ナースコールの位置、ポータブルトイレの向きなどイラストを見て危ない所を指摘し合いました。



その結果、今後の対策としてシーツ交換や環境整備の時、患者さんに危険がないか確認するということがあげられました。

そこで、

“目標：環境整備時、不要なものは片付ける!! ヨシ!!”

ということで、環境整備のときみんなで頑張っていくことにしました。

医療安全管理者 松浦 美砂

## ■ 回復期リハビリテーション病棟 ■

回復期リハビリテーション病棟では毎月1回1時間程度のレクリエーションを実施しています。運動会やしおり作り、クリスマスリース作り、福笑い、すごろく大会、鬼退治大会など季節に応じた催しを実施しています。患者さんとの交流だけでなく、準備などを通してスタッフ同士の交流も深めることができるのではないかと思います。



### 広瀬病院

## 新入職員紹介

広瀬病院の新入社員を紹介いたします。



●看護部  
**横佐古 照美**

血液型

B型

趣味

パッチワーク、手芸

まだまだスタッフのみなさんにご迷惑をかけていると思います。  
これからもよろしくお願ひします。



●栄養部  
**平野 麻美**

血液型

B型

趣味

ボートとすること

「何事も勉強」の毎日をおくっています。  
(ヤレヤレ)  
とにかくガンバロ

医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護



## 広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL: 087-867-9911(代) FAX: 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email [info@hirose-hosp.or.jp](mailto:info@hirose-hosp.or.jp)

発行者: 医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集: 広瀬病院広報委員会

発行日: 平成21年4月